

大明教育 実践の評価

◆令和元年度末の実践の評価を踏まえ、今年度の課題を明らかにする。

◆小中連携及び学校・家庭・地域の連携・協働の場を探る。

<評価方法について>

◇A-よい B-ふつう C-改善が必要 の3段階で評価

◇評価者の職種によっては評価できない項目もありますので、その場合は空欄にしないで斜め線を記入すること。

◇「気づいたこと」には、率直なご意見を記述してください。特にC評価については改善方法等を具体的に書くこと。

※今回は、コロナの関係で記入できるところのみ評価をしてもらいました。(数字にバラツキがあります)

評価項目	評価		
	A	B	C
1. 教育目標について			
① 学校教育目標・指導重点は適切だったか。「自ら考え 活動する 心豊かな子ども」 (〇あいさつができる〇きまりが守れる〇すすんで学習できる〇思いやりがもてる)	2 1	6	0
② 学校教育目標が学年学級経営や教科指導に具現化されているか。	2 1	6	0
③ 学校教育目標や経営方針が児童や父母に理解されるよう配慮されているか。	2 1	6	0

(意見)

- ・ホームページに各クラスの様子が載せられていて素晴らしいです。(教頭先生、ご苦労様です。保護者の方々が見てくれればいいですけど。)

(考察)

- ・「学校教育目標・指導重点は適切である」「学年学級経営や教科指導に具現化されている」でAと答えた教職員は77%。昨年度より3%落ち込んでいる。また、「学校教育目標や経営方針が児童・保護者に理解されるよう配慮されている」という設問も、A評価が77%。学校教育目標や経営方針が理解されるような配慮に一工夫が必要である。

(改善点)

- ・2学期以降学校教育目標や指導重点が児童や保護者に理解されるように学校便り、ホームページ更新はもちろんだが、毎日の授業、授業参観、各種行事、学年通信等で実行していく。(本年度は、コロナのため難しいかもしれませんが。)

評価項目	評価		
	A	B	C
2. 経営・組織			
① 学校運営に関する連絡・調整はスムーズか。	2 5	0	0
② 職員会議は学校運営に適切に機能しているか。	2 5	0	0
③ 学年打ち合わせが十分できているか。	2 1	2	0
④ 研究主題は、学校課題に合った適切な内容であったか。	2 3	2	0

(意見)

・日々の忙しい中、先生方が時間配分を工夫し、学年経営がスムーズにいくように打ち合わせをしっかりと行っている。

(考察)

・職員は、学校運営に関しての連絡・調整や職員会議については、おおむねスムーズで適切に機能していると考えている。

・研究主題は本校の課題に適切なものであると考えている教職員がほとんどである。

・日々の学年の打ち合わせについては、なかなか時間を生み出せていない現状である。

(改善点) 学年の打ち合わせが綿密にできるように会議等の運営の時間短縮を図る。職員会議・校内研等の資料を1週間前に配付し目を通してもらう事で、時間短縮をはかる。終礼等の時間短縮については、読んで伝わることはパソコン上の文書提案で引き続き行う。

評価項目	評価		
	A	B	C
3. 教育課程 (1) 全般			
① 教育課程に本校の特色は生かされているか。	18	8	0
(2) 各教科・総合的な学習の時間			
② 教科指導は、教材研究・事前の準備等を行い、わかる・楽しい授業に心がけたか。	21	3	0
③ 創意工夫のある授業実践を通して、自ら学ぶ意欲と態度を育てることができたか。	19	5	0
④ 各教科の授業時数は確保できているか。	5	10	2
(3) 道徳			
⑤ 教科や他領域との関連に考慮がはらわれているか。	13	6	0
⑥ 道徳的実践・道徳性などが高められていると思うか。	11	7	1
(4) 特別活動(学級活動・児童会活動)			
⑦ 学級活動は、自主的・自発的に運営されたか	16	7	0
⑧ 児童会活動は、自主的・自発的に運営されたか。	17	7	0
(5) 学校行事			
⑨ 学校行事は適切に計画的に実施されているか。	7	11	1
⑩ 学校行事は、学校生活に活力を与えるよう計画運営されているか。	11	7	1

(意見)

・コロナウイルス感染症により、予期せぬ変更の多い学期でした。そのたびに先生方は、新たに計画づくりを数多く強いられましたが、よく考え、できることの最善を尽くしてきたと感じます。

6年生においては、球技会・縦割りなど、例年行ってきたことができませんでした。でも、工夫すると、それに相当する力をつけられるものと実感しました。**これを機に、行事の精選に取り組んではいかがでしょうか。**

・コロナの中、学校行事を精選しているが、余裕があり(授業の余裕はなかったと思いますが・・・)取り組めてよかった。**普段(通常時)も、行事の削減・精選をしていけるとよいと思う。**

・コロナウイルスの影響から、行事は計画と大幅に異なる実施となっているが、その中でも最善を尽くし行っているように感じている。今後の取り組みの中で今年だからこそできることにも目を向けて、子どもたちの意欲

の喚起や成長へとつなげられるようにしていきたい。

(考察)

- ・教育課程に本校の特色が生かされているかについては、30%の職員がまだまだだと答えている。
- ・今年は、コロナのため授業時数の確保が難しかった。しかし、緻密な計画を立て、おおむね1学期の内容は、各学年ともクリアしている。
- ・道徳については、他の教科や領域との関連、児童の道徳性が高められているかと設問にはB評価が多い。
- ・特別活動の学級活動・児童会活動では、まだまだ自主的・自発的に運営ができていない状況がある。特に児童会活動では、児童が集団で集まることができないため、あいさつ運動や縦割り班活動などができず、上記のような結果になっている。

(改善点)

- ・今後もコロナの影響が学校現場に出てくる可能性が高い。行事の精選が急務である。
- ・道徳科は3年目を迎えるが、「考え議論する道徳」に向けた授業づくりをさらに意識して進めていく。また、道徳と他の教科・領域の関連を意識しての授業を行っていく。
- ・自ら学ぶ意欲と態度を育てることができたかについては、学校全体で話し合い、創意工夫のある授業が行える基盤を今後も作っていく（全職員の共通認識・教材研究のための時間確保）。
- ・自ら学ぶ意欲を育むため、「学びの質を高める授業づくり推進事業」を通して、校内研究で授業づくりに取り組んでいく。

評 価 項 目	評 価		
	A	B	C
4. 学級経営・生徒指導			
① 児童との心のふれあいを深め、豊かな人間関係を築く学級づくりに取り組めたか。	2 1	2	0
② 職員が共通理解をもち生徒指導を推進しているか。	2 5	2	0
③ 支援委員会を中心とした支援は適切に行われたか。	2 5	2	0

(意見)

- ・支援を要する子について、共通理解を図りながら、支援ができていると思う。とてもありがたい。

(考察)

- ・生徒指導上の問題については、共通理解が図れるように情報交換を常に行っている。また、支援が必要な児童に対してもコーディネーターを中心に情報交換を密にしている結果が表れている。

(改善策)

- ・気になる子への対応は担任だけでなく、学校全体による「チーム」で対応していく必要がある。そのための情報交換の時間は必要であるので、その時間を捻出し全職員が主体的に関われる体制をこれからもつくっていく。

評 価 項 目	評 価		
	A	B	C
5. 家庭・地域社会との連携			
① 授業参観・懇談会は適切だったか。(回数・内容・出席率)	3	8	0
② P T A 活動は目標達成のため計画的に展開されているか。	9	6	0
③ 児童の登下校時において安全が確保されているか。	1 9	6	0
④ 学校応援団を有効に活用できたか。	1 1	7	1

(意見)

- ・授業参観やPTA活動については、新型コロナウイルス感染症予防のため、予定していたことができなかったが、資料やおたよりの配付やホームページの充実という形で、ある程度対応できていたと思う。
- ・現状に合わせて、できることはやっていると思う。

(考察)

- ・授業参観・懇談会はこんな状況なので、1学期は実施できなかった。また、PTA活動も同様である。
- ・児童の登下校については、安全が確保されていると答える教職員が多い。
- ・学校応援団の活用については、もう少し活用したほうが良いという答えがある。

(改善点)

- ・授業参観や懇談会は、コロナの様子を見て、適宜実施していく方向である。
- ・見守り隊の方たちが、毎日児童のために登校指導・下校指導をしてくれているので、今後も協力をお願いしたい。学校としては、集団登校指導・下校指導をさらに徹底していく。
- ・学校応援団については、どんな場面やどの授業になど、具体的な要望を出してもらい活用を図っていく。

評価項目	評価		
	A	B	C
6. その他			
① 子どもたちは、あいさつができていたか。	5	17	5
② 給食中のすごし方やマナーに問題はないか。	17	8	
③ 清掃指導にしっかり取り組めたか。	17	7	0
④ 読書意欲を高めるような指導ができていたか。	18	7	0
⑤ 保健指導がしっかりできていたか。	25	1	0

(意見)

- ・児童玄関で、朝健康チェックをしていたが、しっかりあいさつができる子とできない子の二極化がすごいです。教師がめげずにしていくしかないと思います。
- ・今年の特別館の3年・5年の掃除の子は、とてもよく働き、担当が一か所に張り付かずすみ、全体を見ることができて助かっている。また、児童玄関・職員室前廊下の6年生もとてもよく働いている。他の学年は見ることができなかったが、全体的に一生懸命掃除に取り組んでいるのではないかと思う。
- ・手洗いについては、本当によく行えるようになりました。習慣化され良かったです。一方、マスク、給食については慣れからか、少し緩んだ時がありました。時々、必要性を確認しながら、子どもたちと考え、2か月間取り組むことができました。
あいさつは、健康チェックカードのチェックの効果か、良くなっている気がします。
- ・あいさつのできる子・あいさつを進んでする子は、増えてきているが、あいさつのできない子・しない子・声の小さい子が、まだかなりの数いる。
- ・学校だけでなく、家庭との連携が必要（校内でしかできていない実態があるため）PTAで取り組むなど。
- ・給食はとても静かに食べていて、少しかわいそうだと感じました。

(考察)

- ・今年は玄関でのあいさつ運動ができず、しっかりとしたあいさつの取り組みができなかった。日常のあいさつがまだまだであるという答えが非常に多い。いつでもあいさつを自分から行える子が増えることが望ましい。

- ・給食中の過ごし方は、コロナ対策のため無言で食事をしているので、どのクラスも静かに食事をしている。マナーについてもクラスのルールをしっかり守っている児童が多い。
- ・清掃指導・読書指導については、おおむね良いとなっている。
- ・保健指導は、マスク着用・手の消毒等とても気をつけて取り組んでいる。下校後の校舎内の消毒も先生方に分担し、校舎内もれなく行っている。

(改善点)

- ・いつでもどこでも自分から進んで気持ちのよいあいさつができるように全校体制で指導を工夫していく。(今は、クラスの指導しかできないが)
- ・給食主任を中心に食事のマナーを含む給食指導を継続的に取り組めるよう計画・実行していく。
- ・清掃についてもこれからも子弟同伴で環境美化に取り組んでいく。
- ・保健指導については、コロナ対策をしっかりとり、今後も継続し、感染防止に努めていく。